



FUKUSHIMAものづくり 企業ファイル(No.6)

このコーナーでは、福島市に立地しているものづくり企業の知られざる魅力にスポットを当て、紹介します。

今回は「株式会社日進堂印刷所」さんです。

弊社は、今年で創業75周年を迎えます。最近は、「お客様により役立つ製品を」という思いを込めて、印刷物の高付加価値化に力を注いでいます。また、福島県にとことんこだわった自社商品の「ふくしま手帳」は今年で10年目。今ではたくさんの皆さまにご愛顧いただく商品に成長しました。新たな動きとしては、日進堂グループ4社の女性が参加する新チーム「Joshifull(ジョシフル)」も始動。女性目線でのさまざまなご提案もできるようになりました。今後も地域のために何ができるかを問い続け、形にしていきたいと思います。



日進堂印刷所
ホームページ



地域に役立つ形や仕組みを、私たちから。

株式会社
日進堂印刷所

クローズアップ

仕事内容は？

私は、昨年導入された自動断裁機を使って毎日断裁作業をしています。

業務内容は、大きな用紙に印刷されたものを指定のサイズに断裁し、皆さんがよく見掛けるチラシ等に仕上げる作業をしています。

注目の若手社員にインタビューしました！



(入社3年目)
しぎはら ゆうり
嶋原 勇璃さん

これからの目標は？

まだ新しい機械で、操作を覚えてから数カ月しか経っていない事もあり、わからない部分もあるので機械の特性を理解し作業効率を上げたいです。

【会社概要】

所在地 福島市庄野字柿場
代表者 佐久間 信幸
創業 1945年10月
資本金 6千万円
社員数 168人
主要製品 総合印刷、
ノベルティグッズ、
企画営業、WEB開発
連絡先 ☎594-2211

■問／商工業振興課 ☎525-3720



We Love♥ふくしま！

第25回『ピンチをチャンスに』

新しいスタートに希望膨らむ4月。それを目前に、先の見えない暗雲に包まれています。

中国、武漢に発した新型コロナウイルス感染症は、3カ月ほどで世界的に感染が拡大。3月8日現在、100近い国・地域で10万人以上の感染者が確認され、死者は3500人を超えました。

県内でも感染者が発生。学校は、政府からの全国要請もあって、3月初旬から臨時休業になりました。経済面でも、観光・行事のキャンセルが相次ぎ、観光・飲食業界など、多方面に深刻な影響を及ぼしています。

市では、当面の対策方針を策定。市長メッセージを発したり、相談や休業中の児童に関し独自対策を充実させるなど、全庁的取り組みを推進してきました。今後も、感染動向や政府の対策に応じ機動的に対応してまいります。

今、本当につらい状況ですが、こういうときこそ、普段できないことにチャレンジするチャンスかもしれません。テレワークや遠隔学習などのICT化、働き方改革、スキルアップのための研修、新たな戦略づくりなど、いろいろなことができそうです。

また、感染症防止に配慮した改修や多文化化・バリアフリー化なども考えられるでしょう。自己資金はきびしいと思いますが、有利なサポートが充実しています。加えて、福島市は、県内初の先導的共生社会ホストタウンに認定され、ホテルや小売・飲食店などのバリアフリー化に国の重点支援を受けやすくなりました。

市民の皆さんのご協力をいただきながら、感染拡大を防止するとともに、ピンチをチャンスに変える取り組みも進め、この危機を乗り越えた暁には、一回り強くなって、連続テレビ小説「エール」と東京2020大会の好機を生かせるようにしていきたいと思っています。

福島市長 木幡 浩